



2025 年 11 月 14 日

各 位

会社名 ブロードマインド株式会社
 代表者名 代表取締役社長 伊藤 清
 (コード番号：7343 東証グロース)
 問合せ先 財務経理部長 石井 満
 (TEL 03-5459-3092)

2026年3月期第2四半期（中間期）決算説明会 質疑応答集

2025 年 11 月 13 日に公表した 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）通期決算（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）に関し、当社で想定しておりました質問および株主・投資家の皆さまより頂戴したお問い合わせと感想につきまして、その内容と回答を以下の通りお知らせいたします。本開示は市場参加者の理解を深めることを目的として実施するものです。ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

**Q: 上期の利益が計画の倍近いのに、業績修正がないのはなぜか？ 下期が計画より下振れるリスクがあるのか？
 あるいは、結果上方修正含みなのか**

A：4Q に不動産開発案件が集中しているため、その実現蓋然性によると考えております。ただし期ずれは想定しておりません。なぜなら、販売先についてはある程度確度が高い中で、あとは価格面での調整となるためです。仮に、価格調整後であったとしても、連結の利益額を毀損する想定はしておりませんので、現時点での上方・下方修正のいずれも想定しておりません。



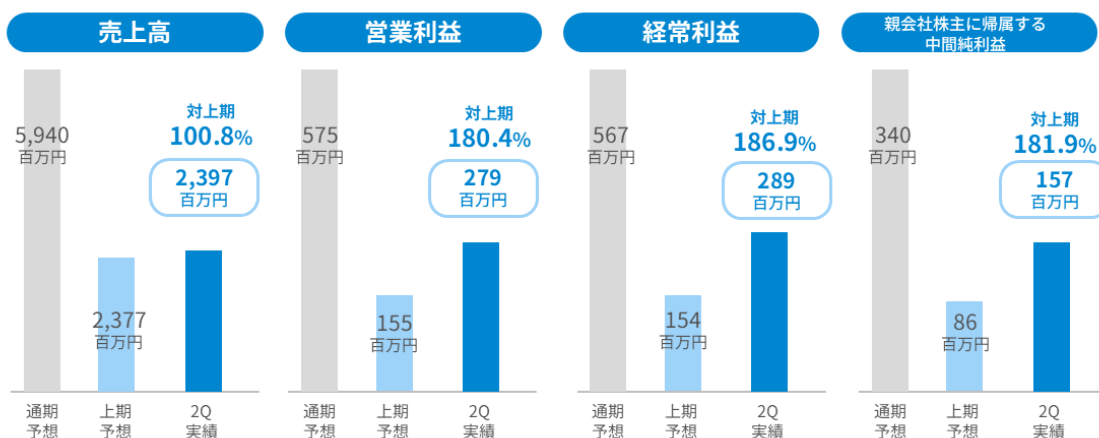
01

業績予想に対する進捗

業績
ハミルトン

上期業績予想に対する進捗は堅調。

※新卒コンサルタントの稼働開始が下期であること、不動産開発販売が4Qに偏っていることから、下期偏重の計画となっています。



Q：AI エージェントのプロダクトを 3Q から社内利用（社内コンサルタントがお客様に対しての利用）する予定とのことだが、外部への展開はいつ頃の予定か

A：明確な時期は申し上げられませんが、最低でも半年程度の社内での磨きこみをしっかりと対応する予定であり、外部への展開は来期の 3Q 以降を想定しております。



01

業績
ハミ
ニ
ー

AIエージェントの開発について

顧客の関心ごとから対話を深堀り、FP相談への期待感を高める体験を提供。



©2025 BROAD-MINDED Co., Ltd.

注：開発中の画面であり、実際のプロダクトとは異なる場合があります

12

Q：金融機関向け提供プロダクト開発における複数のアライアンスとは具体的にどのような取り組みか

A：現状では明確にはお答えできませんが、見込み客の発掘における AI プロダクトの共同開発を進めております。情報公開できるタイミングになりましたら速やかに開示いたしますので楽しみにお待ちください。

Q：中期経営計画の 27.3 期営業利益 12.8 億円に対して、当初見通しとのギャップをどのように整理され、今後の利益成長スピードをどのように考えているか？新卒採用の定着に当初よりギャップがあったものの、達成時期を後ろ倒して、達成を目指していくのか

A：中期経営計画の目標とのギャップは認識しており、新規顧客の獲得＋既存顧客の追加販売拡大＋新領域の拡大で着実に利益を積み増していく計画です。また、新領域を中心に新たな戦略の柱を強化していくことで、利益率を高める戦略を進めていっております。

Q：同業他社の FP パートナーに業務改善命令が出されたが、御社は大丈夫なのか

A：当社は保険会社との便宜供与や利益供与による偏り販売は一切ございませんのでご安心ください。

Q：見通しよりも純利益が上振れた際に、100%配当に回していただく増配になると考えていいのか

A：2027年3月期までは配当性向100%を目指しておりますので、今期、見通しよりも上振れた際には当然予定している額よりも増配を考えております。



04

株主還元

業績予想・株主還元

経営課題

中長期的な企業価値の向上

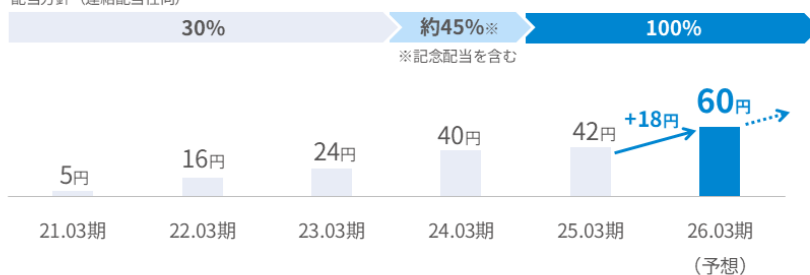
+

株主への適切な利益還元

配当方針

適切なキャッシュマネジメントを前提に、成長投資と積極還元を両立。
25.03期から27.03期までの3期間は配当性向100%を目指す。

配当方針（連結配当性向）



- 26.03期も配当性向100%を目指す姿勢は堅持
- 来期以降も利益回復基調の中で増配を目指す